



西新潟中央病院

# NST NEWS 第17号

NST: Nutrition Support Team

発行日：2015年3月3日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線 1303

## NST委員会からのお知らせ ～JSPEN2015 参加報告～

2月12日～13日、神戸国際会議場、神戸国際展示場、神戸ポートピアホテルで開催された、第30回日本静脈経腸栄養学会学術集会（JSPEN2015）に参加してきました。今回も栄養療法に関する新たな知見を多数学ぶことができましたので、一部ご報告させていただきます。

### ・アルギニンに続く新たなアミノ酸の可能性 ～オルニチンについて～

褥瘡など創傷に対する治癒促進作用のある栄養成分として、**アルギニン**が有名です。しかしアルギニンは炎症や腎機能への悪影響が報告されており、肺血症などの重症感染症や腎不全の症例には使用しにくいという欠点がありました。

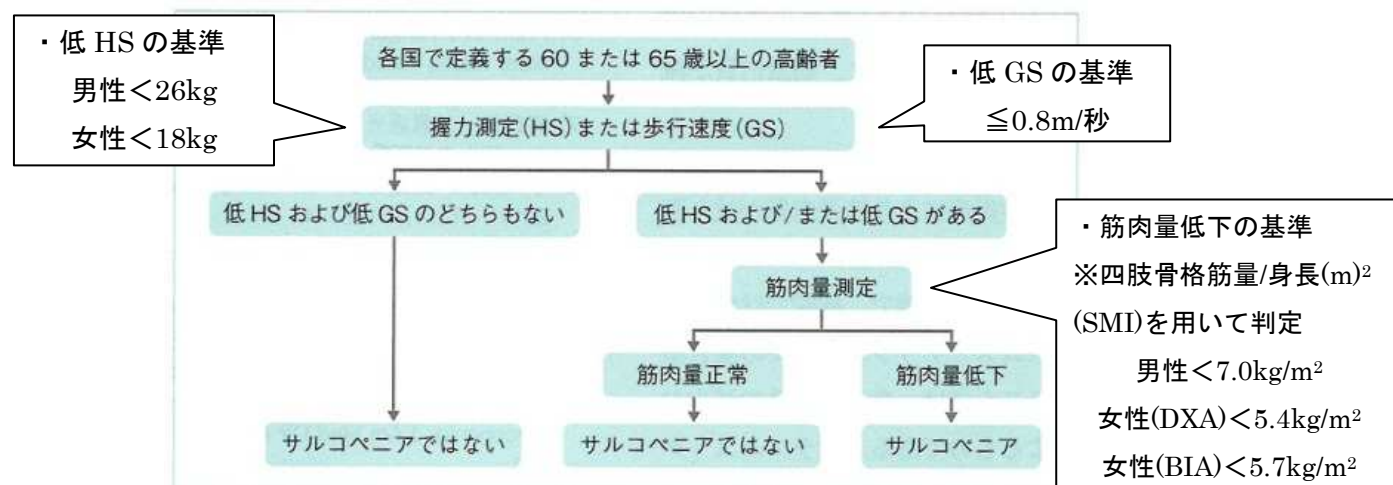
そこで現在注目されているのが**オルニチン**です。オルニチンはアルギニンと同じアミノ酸のひとつで、欧州では医薬品成分としてその有効性が認められています。オルニチンはアルギニンに比べて創部を縮小させるスピードが速く、腎臓への負荷も少ないという報告があることから、今後普及が進んでいくのではないかとのことでした。



オルニチン粉末飲料  
オルニチュート  
(画像はメーカーHPより引用)

### ・サルコペニアの判定基準について

2014年にAsian Working Group for Sarcopenia (AWGS)によって、サルコペニア診断のためのアルゴリズムが発表されました。年齢、筋力、筋量によって診断が可能となり、各施設から疾患ごとのサルコペニアの有病率や、病態やADLの差について発表が行われていました。



AWGSによるサルコペニア診断のためのアルゴリズム

(臨床栄養 2014.9, Vol.125(4) : 392-395 より一部を改変して引用)

(文責：栄養管理室 澤田周矢)